

View

び ゆ う

No.82

2024.Winter

—せいしん地域情報誌—



CONTENTS

●特別寄稿 **鍵になる賃上げ**

東京大学 名誉教授
伊藤 元重 氏

●“キラリ”地元企業

宇式エンジニアリング株式会社

●特集

豊富な経験や高い専門性を活用!
兼業・副業人材

●巷で話題の技術・商品・サービス

～賢く食べて健康に!～
「スマートミール」



せいしん
静清信用金庫



特別寄稿

鍵になる賃上げ

東京大学名誉教授

伊藤 元重 氏

20年以上もデフレで苦しんできた日本経済も、ようやくデフレからの脱却の道を歩み始めた。激しいインフレに苦しんだ欧米のようにはなっていないが、それでも1年以上インフレ率が3%前後という状態が続いている。日本銀行が目標にしているインフレ率が2%であることを考えれば、すでに立派なインフレの世界に入っていると言える。

もちろん、今後も一本調子で物価が上がっていくと決めつけることはできない。米国ではインフレ鎮火の兆しが見え、金利が低下する傾向を示している。世界経済の先行きを不安視させる中国経済の景気不振もある。景気低迷が世界に広がるようだ、物価上昇にもマイナスの影響が及ぶ。

このように今後もインフレが続くのかそれとも沈静化するのかわからない状況が続くが、日本経済がすぐにかつてのデフレに戻ることは考えにくい。それよりもインフレの基調が続くと考えた方が良さそうだ。そう考える大きな理由は、日本の雇用の状況だ。

多くの経営者の方がその深刻さを実感しているように、構造的な人手不足の状況が続いている。世界の中でも高齢化のスピードが速かった日本では、65歳未満の人口を指す生産年齢人口が急速に減少している。それを補う意味もあって、女性や高齢者の雇用が拡大してきたが、これも飽和点に近づいている。女性や高齢者の就業率は世界最高水準に近づいているのだ。こうした状況は一時的なものではない。

人手不足の状態は当分続くとすれば、気になるのが賃金の動きだ。賃金を上げられない企業は人を確保することも難しくなるだろう。足元では賃金の上昇のスピードはまだ遅い。物価は3%前後で上昇しているが、賃金上昇のスピードはもっと遅い。だから実質賃金は下がり続けている。つまり、労働者の実質の取り分は減少している。人手不足が深刻化しているのに労働者の実質

の賃金が減り続けるというおかしなことが続いているのだ。

ただ、こうした事態がいつまでも続くとも思えない。賃金はすぐには上がらないが、時間が経つほどに上昇圧力が強くなっていく。物価が3%で上がり続ければ、労働者不足が深刻な業界では、5%や10%という高い賃上げを実行する企業も増えてくる。この結果、高い賃上げを実現する企業と賃上げができない企業の格差が大きくなり、後者から前者に向けて労働移動が加速する。

専門家はこうした現象を新陳代謝の拡大と呼ぶ。それは日本経済にとっては総じて好ましいことだが、賃金を上げることができない企業や業界にとっては厳しいことでもある。ギリギリの人件費でやりくりしている企業にとっては厳しい話である。ただ、国内で賃上げが進めばそれによって物価が押し上げられ、物価が上がれば賃金がさらに上がる。そうした物価と賃金の国内循環が起きつつあり、今後賃金はさらに上がることになりそうだ。

多くの企業は20年以上、物価や賃金が上がらない世界に慣れきってきた。だから賃金が上がっていく世界が実感できない企業も多いだろう。しかし、時代は明らかに変わりつつある。物価や賃金が上がり続ける世界で自分たちは何をしなければいけないのか真剣に考える時代だ。

ある著名な経営者が、「価格引き上げは営業の問題ではなく、経営の問題であり、社長の問題である」と発言して話題になっている。この企業は大胆な価格引き上げを実行することで業績を大きく改善させた。これまでのデフレ時代の価格付けの慣行から脱する時、経営者の大きな決断が重要であったということだ。

この教訓は大小関わらず全ての企業に当てはまる。「値上げも賃上げもこれまでの慣行の延長線ではなく、経営の問題、そして社長の問題」として受け止めるべき時代となっている。

〈伊藤元重氏 プロフィール〉

1951年生まれ静岡県出身。1974年東京大学経済学部卒。1979年米ロチェスター大学経済学博士号取得。専門は国際経済学。東京大学大学院教授を経て2016年4月～2022年3月まで学習院大学教授、2016年6月から東京大学名誉教授。

また、2013年より6年間にわたり経済財政諮問会議の議員を務める。その他、復興推進委員会委員長、公正取引委員会独占禁止懇話会会長、気候変動対策推進のための有識者会議委員、GX実行会議構成員などの要職を歴任し、政策の実践現場で多数の実績を有する。

著書に、『入門経済学』（日本評論社、1版1988年、2版2001年、3版2009年、4版2015年）、『ゼミナール国際経済入門』（日本経済新聞出版社、1版1989年、2版1996年、3版2005年）、『ビジネス・エコノミクス』（日本経済新聞出版社、2004年、2版2021年）、『ゼミナール現代経済入門』（日本経済新聞出版社、2011年）など多数。

学歴

1974年3月 東京大学経済学部経済学科卒業
1978年7月 ロチェスター大学大学院経済学部博士課程修了
1979年2月 経済学博士号(Ph.D.)取得

職歴

1978年9月-1979年6月 米国ヒューストン大学 経済学部 助教授
1979年10月-1982年3月 東京都立大学 経済学部 助教授
1982年4月-1993年11月 東京大学 経済学部 助教授
1993年12月-1996年3月 東京大学 経済学部 教授
1996年4月-2016年3月 東京大学大学院 経済学研究科 教授
2006年2月-2014年3月 総合研究開発機構 理事長
2007年10月-2009年9月 東京大学大学院 経済学研究科 研究科長(経済学部長)
2013年1月-2019年1月 経済財政諮問会議 議員
2015年6月-現在 JR東日本旅客鉄道株式会社 社外取締役
2016年4月-2022年3月 学習院大学 国際社会科学部 教授
2016年6月-現在 東京大学 名誉教授
2018年6月-2022年6月 はごろもフーズ株式会社 社外監査役
2018年6月-2022年10月 株式会社静岡銀行 社外取締役
2018年6月-現在 住友化学株式会社 社外取締役
2022年4月-現在 JX金属株式会社 社外取締役
2022年6月-現在 はごろもフーズ株式会社 社外取締役
2022年10月-現在 株式会社しずおかフィナンシャルグループ 社外取締役・監査等委員会委員長

“キラリ”地元企業

宇式エンジニアリング株式会社

(代表取締役社長 宇式 寛記)

本社: 〒422-8004 静岡県駿河区国吉田1丁目6-33

従業員数: 59名

事業内容: ICT関連製品の販売、構築、保守

TEL: 054-262-2557 FAX: 054-263-6552

URL: <https://www.ushiki.co.jp>



▲本社外観

宇式エンジニアリング株式会社は、ICT関連製品の販売、構築、保守を主な業務としており、静岡県内6拠点のサービス体制で、高品質なサービス・サポートを提供している。今やICTは経済活動に欠かすことのできない社会基盤であり、進化・変革のスピードが加速するなか、同社はICTを通じてお客さまや地域コミュニティのニーズにあったサービス・ソリューションを提供し、地域社会との共生、ひいては持続可能な社会の実現に寄与することを目指している。

SDGsと業務を融合した特徴的なアクション

経営理念の一つである「社会への貢献と協力(お役に立つ企業と個人)」に基づき、環境問題に対する社会的責任と役割を果たすため、2022年にグループ会社である株式会社宇式通信システムとともに静岡市にSDGs宣言書を提出した。また、当社業務とSDGsを融合させ、カーボンニュートラルをはじめ新たな技術・サービスの創造、働きやすい職場環境、人財育成などの目標を設定し具体的なアクションを展開している。

Point1 SDGs宣言書作成を通じ業務との関連性を整理



宇式社長がSDGsに取組むことを決意し、経営陣が率先して「SDG Compass (GRI, UNGC, BCSD共同作成)*1」や「SDGs活用ガイド(環境省作成)」を参考に研究を重ね、「SDGs企業」となるためのロードマップを作成した。

当社はこれまでも、デジタルインフラ最適化サービスの提供や、調達物品コスト・業務コスト削減に直結するオフィス機器を取扱うワンストップショッピングサイト「Net 2B**2」の運営を行うなど、SDGsのテーマである「省エネ・省コスト」や「働きやすさ」を実現するサービスを展開してきた。また、今後目指すべき方向性を定めるためには、当社業務とSDGsとの関連性を整理することが必要だと考え、「静岡市SDGs宣言書」を作成して静岡市に提出した。同宣言書では8種類のゴールを当社の重点推進項目として定めている。

*1 企業がSDGs経営を進めていくための行動指針

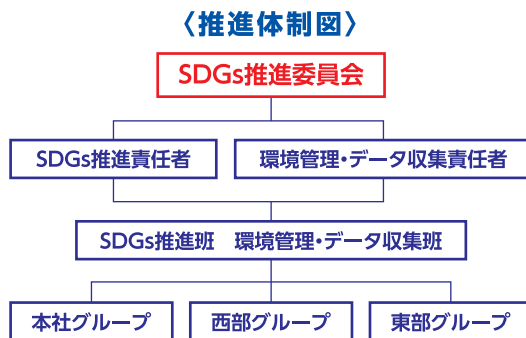
*2 事務用品等の間接材調達コスト削減の仕組みを導入からアフターフォローまで一貫してサポートするサービス

Point2 若手中心のSDGs推進委員会による具体的なアクションの検討



具体的なアクションを開始するにあたっては、社員参加型で継続性がある仕組みが必要である。そこで、「SDGs推進委員会」を立ち上げ、2023年4月にグループ社員全員が参加したキックオフイベント「SDGsフォーラム」を開催した。

委員会は若手社員中心に構成され、発足以降、ミーティングを毎月実施し、具体的なアクションの考案や実践方法の検討を行っている。



▲SDGs推進班によるミーティング

Point3 芽生えはじめた自発的なSDGsアクション



当社では、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に向けた取組みとして、当社が取扱うサプライ品とSDGsのゴールとを紐づけたリーフレットを作成するなど、営業部門が自発的にSDGsを意識した商材やサービスの提案を開始したほか、ゴール8「働きがいも経済成長も」に関連する取組みとして、人事・総務部門が中途採用などの人材採用方法の多様化や、社員のリスクリング施策(新たな知識・スキルの習得)などに着手している。

これから

当社は今後、カーボンニュートラルへの対応をSDGs推進の中心テーマに据え、CO2排出量の可視化と削減目標の設定、具体的な削減策の実践に取組む方針である。推進委員会が中心となってSDGsアクションの重要性を社内共有し、各部門が進むべき道を自発的に検討できる体制を確立した当社のさらなるSDGsへの取組みが期待される。

特集

豊富な経験や高い専門性を活用!

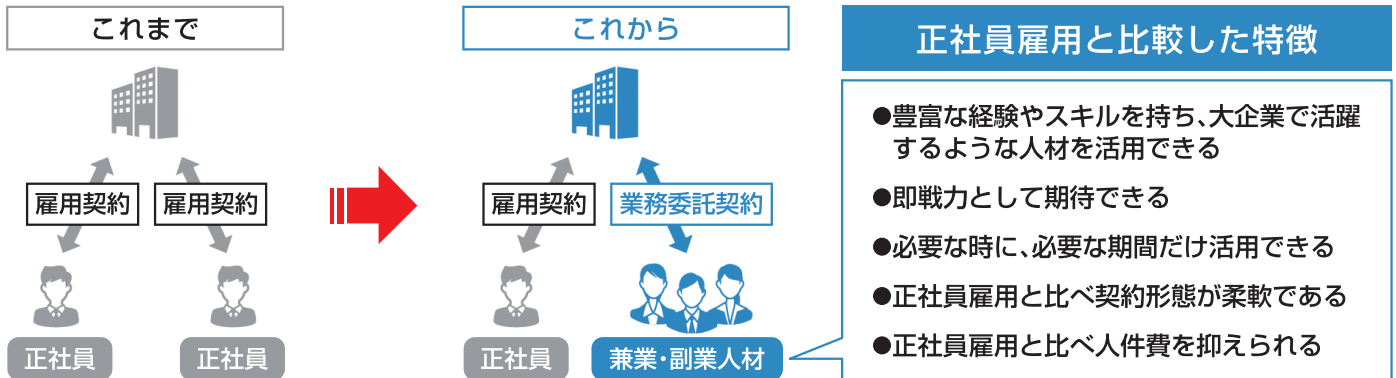
兼業・副業人材

中小企業が抱える課題は、DXやアフターコロナへの対応など高度化・多様化しており、これらの経営課題の解決に多くの外部人材が活躍しています。特に、大企業等で培った豊富なノウハウ・経験を持ついわゆる「プロ人材」の兼業・副業が有効な課題解決手段として注目を集めています。

今回の特集は、新たな人材活用として期待されている「兼業・副業人材」についてご紹介いたします。

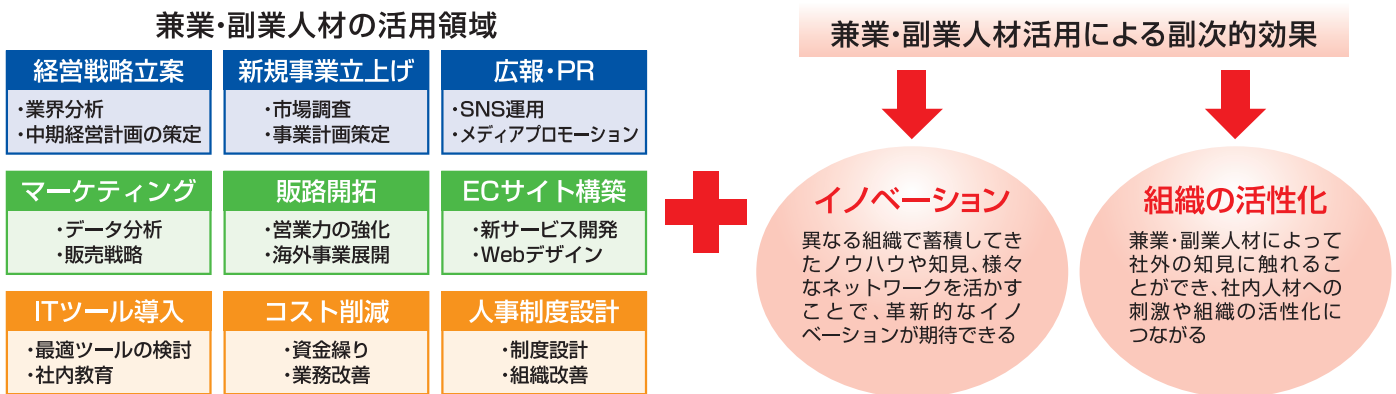
■兼業・副業人材とは?

兼業・副業人材とは、特定の組織に専従しないで自身の専門知識や経験・スキル等を提供して対価を得る人のことを言います。正社員とは「雇用契約」を締結しますが、兼業・副業人材には特定の業務を委託する「業務委託契約」を締結することが一般的です。



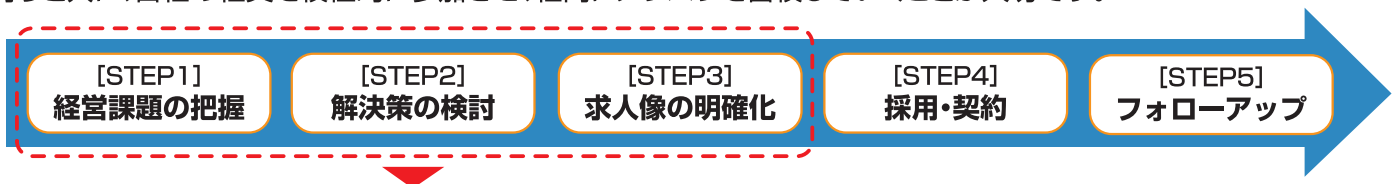
■兼業・副業人材の活用領域と副次的効果

兼業・副業人材は、単純な労働力としてではなく、専門的な知識を活かし、経営課題を解決するような役割が期待できます。また、先進的な技術・知見を受け入れることによって、社内の人材も刺激を受け、組織が活性化するような副次的な効果も見込めます。



■兼業・副業人材の活用ステップ

兼業・副業人材の能力を最大限活用するためには、経営課題を把握し、解決策の検討を自社で行い、求める人材の人物像を明確にすることが重要です。また、兼業・副業人材とプロジェクトを進めていく際には、経営者がフォローアップを行うと共に、自社の社員を積極的に参加させ、社内ノウハウを蓄積していくことが大切です。



STEP1～STEP3までが兼業・副業人材の活躍ぶりを決める!

静岡信用金庫では、静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点や商工会議所と連携し、民間人材ビジネス業者を介して、兼業・副業人材の紹介が可能です。ご相談は当金庫の本支店窓口または担当者へお問い合わせください。

注目Pick Up

Commodity&Technology

巷で話題の 技術・商品・サービス

～賢く食べて健康に!～ 「スマートミール」

スマートミールとは、健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事の通称であり、一食の中で主食・主菜・副菜が揃い、野菜がたっぷり、食塩のとり過ぎにも配慮した食事のことです。栄養の基準は厚生労働省が定める目安に基づいており、「健康な食事・食環境」認証(※)を受けた飲食店で提供されます。食塩控えめだからこそ素材の味がしっかり感じられ満足感のある味わいを楽しめます。

※外食・中食・事業所給食で継続的かつ健康的な空間(栄養情報の提供や受動喫煙防止等)に取組んでいる環境で「スマートミール」を提供している店舗や事業所を認証する制度。



『スマートミール応援プロジェクト』

食を通じた地域の健康づくり推進に向け、当金庫は静岡県立大学と協働し、飲食店やお弁当のテイクアウトを行う事業者の「健康な食事・食環境」認証取得を支援しています。同大学による栄養価計算などの学術分野での協力のもと、認証基準に沿ったメニュー作成や店舗の体制づくりなどを行い、2023年には以下にご紹介する5店舗が認証を取得しました。

特製ハンバーグ弁当



ライス、ハンバーグ、ゆで卵、付け合わせ野菜、グリーンサラダ、ビーツのマリネ

Rotisserie Un Deux

静岡市葵区鷹匠1-10-10
TEL: 054-260-6322

スマートミール対応セットメニュー



真鯛のグリルフルーツマトソース〜季節の野菜添え〜、ライス、自家製バニラアイスクリーム、コーヒー又は紅茶

Cafe Yamazaki

静岡市清水区矢倉町2-9
TEL: 054-365-5709

こっそり栄養がとれちゃう ハンバーグ定食



ハンバーグ、ごはん、味噌汁、サラダ、粉ふきいも

おかずやmaspi

静岡市葵区常磐町1-2-7
TEL: 054-659-2774

チキンオーバーライス



自家製鶏ガラスープのピラフ、サラダ、カリカリチキン

黒猫ナポリ

静岡市駿河区中原820-1
TEL: 090-8677-2525

バンバンジー弁当



ごはん、バンバンジー、オクラと茄子のおかか煮、インゲンとひじきのごま和え、ズッキーニのオムレツ

はなももキッチン

静岡市葵区沓谷4-1-30
TEL: 054-295-6617

アジの南蛮漬け弁当



ごはん、アジの南蛮漬け、オクラと茄子のおかか煮、インゲンとひじきのごま和え、ズッキーニのオムレツ

◀ 認証を受けた「黒猫ナポリ」様の声

野菜の量を増やし、唐揚げの塩分量も調整してヘルシーに仕上げました。スタッフにとっても良い勉強になり、健康への意識がさらに高まりました。

スマートミールに関する
情報はこちらから



(△:減少 p:速報 r:修正 n.a:統計未発表)

統計	月	令和4年 11月	12月	令和5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大型小売店販売額(単位:百万円) (前年比(%))		36,374	46,593	38,668	33,556	36,551	35,630	37,198	36,227	38,847	37,948	35,452	n.a
	(前年比(%))	(p△0.7)	(p2.6)	(p2.7)	(p0.1)	(p0.3)	(p2.7)	(p0.1)	(p0.9)	(p3.3)	(p1.9)	(p0.3)	(n.a)
	【内訳】												
	百貨店(%)	(p△3.6)	(p△2.2)	(p2.6)	(p7.9)	(p6.5)	(p4.4)	(p△0.2)	(p△0.2)	(p4.1)	(p8.0)	(p0.2)	(n.a)
	スーパー(%)	(p△0.1)	(p3.7)	(p2.7)	(p△1.2)	(p△0.9)	(p2.4)	(p0.2)	(p1.0)	(p3.2)	(p1.0)	(p0.3)	(n.a)
新車登録台数(単位:台) (前年比(%))		14,026	13,441	14,319	15,853	19,853	11,913	11,291	13,003	12,119	11,120	14,721	n.a
	(前年比(%))	(16.1)	(10.4)	(14.1)	(18.2)	(9.7)	(16.5)	(22.8)	(14.4)	(1.6)	(12.6)	(11.7)	(n.a)
住宅着工戸数 全体(単位:戸) (前年比(%))		1,685	1,678	1,553	1,509	1,656	1,713	1,672	1,621	1,712	2,028	1,575	1,412
	(前年比(%))	(△13.1)	(△2.0)	(19.4)	(△2.7)	(△4.3)	(0.4)	(5.4)	(△7.3)	(△7.6)	(17.2)	(0.6)	(△14.0)
	【内訳】												
	持家(%)	(△21.5)	(△15.4)	(0.7)	(△8.8)	(△15.5)	(△7.8)	(△11.1)	(△14.6)	(△6.9)	(△3.2)	(△1.8)	(△17.6)
	貸家(%)	(14.4)	(30.8)	(26.2)	(8.3)	(29.2)	(△12.9)	(17.3)	(13.0)	(△27.5)	(63.5)	(24.7)	(△24.2)
	分譲(%)	(△9.4)	(△9.5)	(69.0)	(△35.8)	(△29.2)	(33.5)	(34.5)	(△16.6)	(40.1)	(2.2)	(△28.4)	(21.7)
鉱工業生産指数 ※(平成27年=100) (前年比(%)) ※季節調整済指数		r93.8	r94.5	r92.2	r89.5	r94.3	r94.8	95.5	93.1	90.8	90.2	92.9	n.a
	(前年比(%))	(r6.3)	(r9.0)	(r6.5)	(r0.6)	(r5.5)	(r3.7)	(11.0)	(△0.6)	(△3.6)	(△6.1)	(△3.7)	(n.a)
鉱工業出荷指数 ※(平成27年=100) (前年比(%)) ※季節調整済指数		r91.6	r91.7	r90.7	r87.5	r92.6	r89.7	92.2	90.6	90.9	89.5	91.3	n.a
	(前年比(%))	(r3.4)	(r7.5)	(r6.6)	(r0.1)	(r4.6)	(r△0.2)	(6.7)	(△0.5)	(0.3)	(△3.8)	(△1.5)	(n.a)
鉱工業在庫指数 ※(平成27年=100) (前年比(%)) ※季節調整済指数		r109.3	r106.5	r106.7	r102.6	r103.2	r111.3	108.2	109.1	104.7	106.6	111.1	n.a
	(前年比(%))	(r5.6)	(r5.7)	(r4.1)	(r△1.4)	(r△3.8)	(r4.3)	(1.0)	(3.5)	(△3.3)	(△2.2)	(2.1)	(n.a)
公共工事請負額(単位:百万円) (前年比(%))		12,862	12,675	10,855	19,256	30,045	54,507	40,649	35,790	27,166	26,199	33,777	20,383
	(前年比(%))	(△18.6)	(△32.3)	(△21.8)	(62.3)	(15.6)	(2.2)	(35.5)	(6.8)	(△10.6)	(△28.9)	(△6.5)	(△18.0)
企業倒産 ●件数(件) (前年比(%))		14	18	19	19	30	11	17	15	24	15	31	17
	(前年比(%))	(△26.3)	(38.4)	(137.5)	(171.4)	(87.5)	(△42.1)	(△5.5)	(0.0)	(380.0)	(66.6)	(93.7)	(△22.7)
●負債額(単位:百万円) (前年比(%))		14,158	2,810	2,015	1,355	3,669	627	3,470	1,630	19,697	2,247	1,666	6,592
	(前年比(%))	(1,088.7)	(119.8)	(12.0)	(81.6)	(143.4)	(△89.4)	(85.0)	(△15.7)	(11,155.4)	(8.0)	(34.3)	(152.2)
有効求人倍率(倍) ※季節調整により 数値改訂あり		1.34	1.32	1.29	1.27	1.23	1.24	1.26	1.26	1.22	1.20	1.19	1.20
輸出 ※(単位:百万円) (前年比(%)) ※清水税関支署 管内通関実績		244,721	248,239	179,143	210,327	235,298	224,715	191,860	224,383	234,264	199,106	230,788	p250,121
	(前年比(%))	(27.1)	(25.2)	(13.4)	(13.6)	(3.0)	(5.0)	(5.2)	(0.0)	(2.1)	(△4.8)	(7.5)	(p0.6)
輸入 ※(単位:百万円) (前年比(%)) ※清水税関支署 管内通関実績		r139,956	r148,243	136,519	133,116	133,157	r122,996	r121,341	124,354	111,552	107,006	p114,029	p116,989
	(前年比(%))	(53.5)	(41.4)	(31.1)	(r36.3)	(20.2)	(r△10.4)	(△0.3)	(△7.7)	(△7.2)	(△16.5)	(p△14.2)	(p△18.1)

【資料提供】大型小売店:静岡県経済産業部 自動車:静岡県経済産業部 住宅:静岡県くらし・環境部建築住宅局住まいづくり課 公共工事:東日本建設業保証(株) (令和5年12月7日現在)
 鉱工業:静岡県政策企画部統計調査課 企業倒産:株式会社京ワリサーチ 有効求人倍率:静岡労働局 貿易:名古屋税関・清水税関支署

販路拡大・福利厚生・情報収集・事業拡大など、経営課題をトータルサポート

～経営支援プラットフォーム～未来をつなぐ、ともに前へ！～



Seishin Big Advance

静岡信用金庫が提供する
「経営支援クラウドサービス
～Seishin Big Advance～」

- ビジスマッチング・福利厚生・ホームページ作成支援・安否確認など、様々なサービスを利用できる経営支援プラットフォームです。
- 全国各地の金融機関が連携し、都道府県や金融機関の垣根を超えたビジネスネットワークを構築することであらゆる経営問題の解決をお手伝いします。
- 72,000社以上の会員企業や1,800社以上の大手企業とマッチングが可能で、効率的な事業拡大を実現できます。

せいしん 🔍 検索
<https://www.seishin-shinkin.co.jp/>

詳しくは、当金庫のホームページをご覧ください。お近くの「せいしん」の窓口まで。

本サービスの概要を動画にてご覧いただけます。



令和5年1月現在

静岡信用金庫 経営相談部 〒420-0033 静岡市葵区昭和町2-2 TEL.054-254-5536 令和6年1月4日発行
 ホームページ <https://www.seishin-shinkin.co.jp> E-mail soudan@seishin-shinkin.co.jp

●お願い● 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保证するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。

複製厳禁 禁転載